

ネイティブ バチルス・ステアロテルモフィルス 無機ピロリン酸加水分解酵素

Cat. No. NATE-0353

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1つのピロリン酸分子を2つのリン酸イオンに交換する反応を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反応であり、したがって、これらの交換を完了させるために好ましくない生化学的交換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウム吸収と骨形成、DNA合成、さらには他の生化学的交換において重要な役割を果たします。

用途 無機ピロリン酸加水分解酵素（PPase）は、 $\text{PPi} + \text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{Pi}$ という反応を触媒する遍在する酵素です。これは、タンパク質、RNA、およびDNAの合成において重要な役割を果たします。

別名 ピロリン酸ホスホヒドラーゼ; 無機ピロリン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.1; 9024-82-2; iphosphateホスホヒドラーゼ

製品情報

由来 バチルス・ステアロテルモフィルス

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.6.1.1

CAS登録番号 9024-82-2

活性 15-25 ユニット/mg タンパク質（ビウレット）

単位定義 1ユニットは、pH 9.0、50°Cで1分あたり1.0μモルの無機オルトリン酸を放出します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C